

【選択必修領域】試験一括型

主な 受講対象者	学校種	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校
	免許職種・教科等	特定しない
	職務経験等	特定しない
開設講習名	【選択必修】アクティブラーニングの理論と実践	
開設日	令和3年（2021年）8月28日（土）	
担当講師	甘利 弘樹（教育学部教授）	
履修認定試験<試験一括型> (4限終了後に試験を実施します。)		試験時に配付資料・ノート等の参照：可 (タブレット端末の参照は不可)
担当講師からの連絡事項等 受講・履修認定試験に際し、筆記用具・時計（時計機能のみのもの）を持参してください。		
1限 (9:00~10:15)	本講習では、新しい学習指導要領に記載された「主体的・対話的で深い学び」の基本的な理解の仕方を提示した上で、社会科を主要な事例に挙げながら、複数の教科や生徒指導等において幅広く活用できるアクティブラーニングの理論と手法について追究していきます。	
2限 (10:30~11:45)	予定している具体的な講習内容は、次の通りです。 (受講者数及び事前アンケートの反映によって、変更することがあります) なお、1・2は主に講義形式です。3・4は主に演習形式です。	
3限 (12:45~14:00)	1. 「主体的・対話的で深い学び」及びアクティブラーニングの基本的な捉え方を理解します。 最新の教育関係の情報及び研究成果に基づきながら、「主体的・対話的で深い学び」及びアクティブラーニングの共通点・相違点を整理・分析し、両者の意義・課題を把握します。	
4限 (14:15~15:30)	2. アクティブラーニングに基づく授業実践の従前及び近年における成果・課題を理解します。 ビデオや配付資料に基づきつつ、小学校・中学校・高等学校・大学におけるアクティブラーニング型授業の現代までの成果を整理・分析し、その意義・課題を理解・考察します。	
	3. アクティブラーニング型授業の多様なスタイルを理解します。 アクティブラーニング型授業には、豊富な種類があります。それらの授業スタイルを類型化して理解した上で、その中の数例を体験します。	
	4. 従前及び近年における成果・課題をふまえ、アクティブラーニング型授業の今後の可能性を理解します。 3. の成果を、個人またはペアあるいはグループで発表してもらいます。 その上で、今後必要とされる教材開発・授業スタイルについて分析・検討を行います。	
(15:45~16:45)	履修認定試験	